

シラバス 音楽科

教科名	第3学年 音楽科	担当者	森野 蘭子、笹谷 健吾
-----	----------	-----	-------------

【 学習到達目標 】

- ・ 色々な音や音楽に触れ、音楽のつくられ方や作られた背景と音楽から感じたことの関わりを理解する。
- ・ 工夫して表現したり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴けるようになる。
- ・ 主体的・協同的に表現や鑑賞の学習を楽しんでいき、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。

【 学習方法やポイント 】

- ・ 自分の声にあった歌い方で、積極的に声を出して歌いましょう。何度も歌うことにより、歌詞も覚えることができ、音程やリズムも分かります。歌詞の内容を味わい、そこで表現されていることに合った歌い方をしましょう。
- ・ リコーダーは音孔を押さえることに慣れましょう。何度も演奏することによって指使いを覚えられます。息をしっかりと入れて良い音を出すようにしましょう。運指がわかれば、タンギングも意識して美しい音で演奏できるようにしましょう。
- ・ ワークやプリント問題は教科書等を参考に解き、丁寧に答え合わせをしましょう。
- ・ 音楽を聴くときはその音楽からイメージを膨らませ、そのイメージと音楽の要素との関わりを考えるようにしましょう。

【 年間学習計画表 】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学 期	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	・ 歌唱曲「花」	・ 歌詞の内容や曲想を感じ取り、詩に込められた思いと旋律や強弱とのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	・ 鑑賞曲「プルタバ」	・ 音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、批評する。
	曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう	・ アルトリコーダー曲「海の声」	・ 曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・ 音楽会のクラス選択曲	・ 歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。
	日本の歌や伝統音楽の特徴を理解してそのよさを味わい、表現を工夫しよう	・ 鑑賞「雅楽『越天楽』」	・ 雅楽の音楽の特徴を文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴く。

	<p>曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう</p>	<p>・アルトリコーダー曲「Let It Go」</p>	<p>・曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。</p>
3 学 期	<p>音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう</p> <p>表現を工夫して、美しい響きでアンサンブルをしよう</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って仲間とともに、表情豊かに合唱しよう</p>	<p>・西洋音楽の歴史</p> <p>・アルトリコーダーアンサンブル「ドレミの歌」</p> <p>・卒業式の歌 (答辞の歌・式歌・校歌)</p>	<p>・音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴く。</p> <p>・曲にふさわしい表現を工夫して、仲間と演奏する。</p> <p>・歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。</p>

【評価について】

音楽科では、以下の3つの観点に基づき、生徒のみなさんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能

音楽活動を楽しみ、楽曲の仕組みや特徴、音楽の多様性について理解するとともに、いきいきとした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽演奏、創作の技能を身に付けているかどうか等から判断します。
(主に、授業中の取り組み、定期テスト、実技テスト、提出物から評価します。)

○思考・判断・表現

曲にふさわしい音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価したりしながら、曲のよさや美しさを味わって聴いているかどうか等から判断します。
(主に、定期テスト、実技テスト、提出物、授業中の取り組みから評価します。)

○主体的に学習に取り組む態度

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に積極的に親しめているかどうか等から判断します。
(主に、実技テスト、授業中の取り組み、提出物から評価します。)